

## 第27回広島矯正管区教誨師研修会（JKA競輪補助事業）

平成29年6月29日(木)

### 記念講演

演 題 「人とつながる」

講 師 いのちのミュージアム

事務局 山根和子氏

### 基調講演

演 題 「社会復帰に向けた当所の取組みについて」

講 師 山口刑務所首席矯正処遇官（企画担当） 村田靖治氏



### 研修の成果

平成24年月に犯罪対策閣僚会議において「再犯防止に向けた総合対策」が策定され、また、平成25年12月には、「『世界一安全な日本』創造戦略」が閣議決定され、現在、安全、安心な社会の実現という大きな目標のため、国を挙げて、再犯防止施策に一丸となって、取り組んでおり、その中で矯正の果たす役割は、非常に大きくなっている。

刑事施設に対して、国民は、再非行防止施策の充実はもとより、社会に開かれ、信頼の輪に支えられた施設を目指すことが求められている。これらを受けて、現在、各矯正施設においても受刑者や非行少年の再犯・再非行の防止のため、更生意欲の喚起や社会生活に適應するため能力の育成を図るべく、様々な教育・指導がなされている。

その対象となる受刑者や非行少年が己を見つめ直し、自ら改善しようとする前向きな気持ちも大切であるが、被害者の存在を忘れてはならない。

本研修大会においては、広島矯正管区教誨師連盟に所属する教誨師と、広島矯正管区管内の矯正施設の関係者が一同に会し、大会テーマの主題「未来へ」、にそって、研修が行われ、受刑者や非行少年の社会復帰についての研修はもちろんのこと、被害者を含めた社会が、同じような被害者を生まないためにどうすれば良いのかについて一石を投じた。具体的な方策、内容、教育、指導との連携に多くの課題があるものの、教誨師や職員は、加害者の近くにおいて影響を与えやすい。特に職員とは違う立場の教誨師の前向きで寛大な姿勢が大切である。このような役割を教誨師が担うことは、社会

全体からの要請であるともいえるものであり、国民からの負託に積極的にこたえようとする各教誨師の前向きな姿勢が表れた充実した内容の研修会であった。

開 会 式



基調講演



記念講演



研修場面

